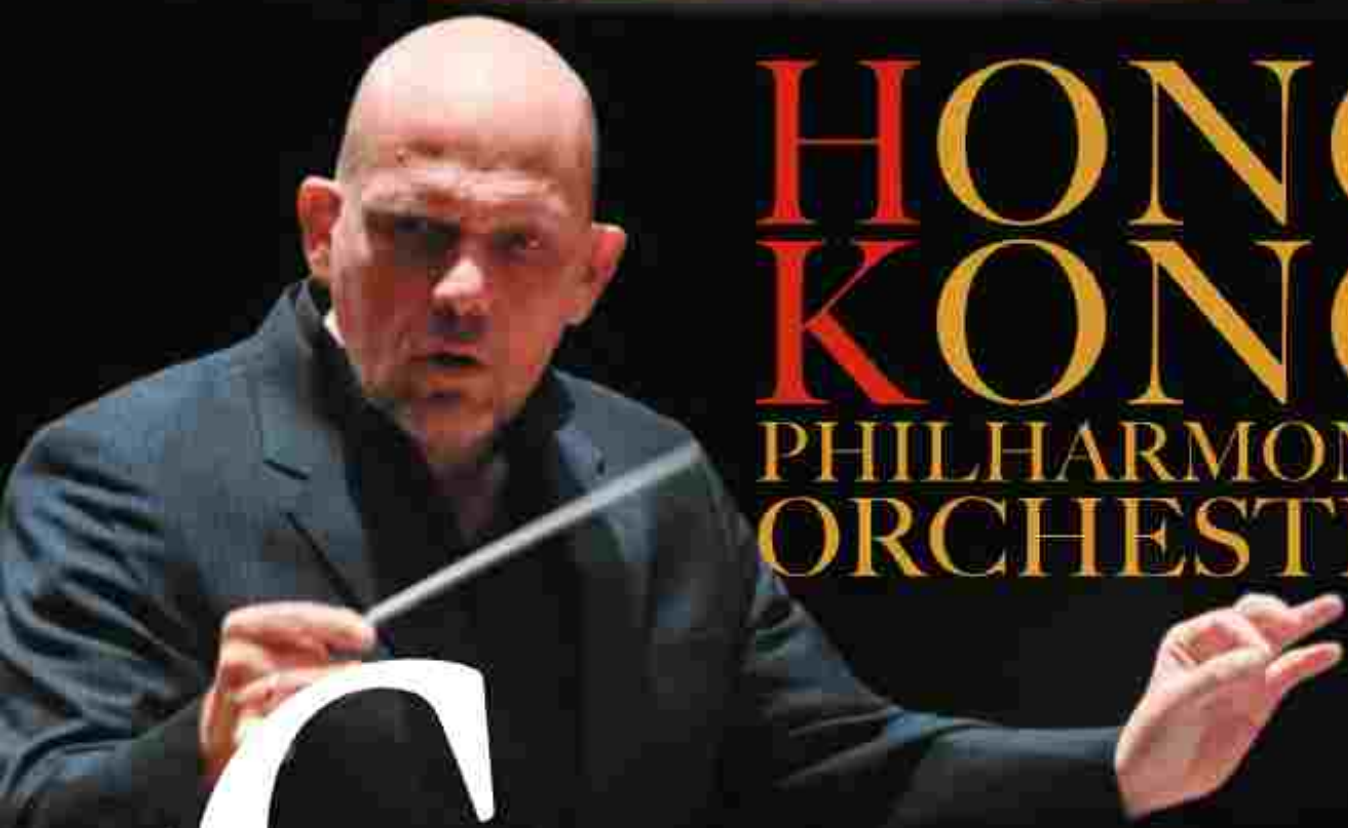
「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.17
2016 9-11月
2016.9.10発行
TAKE FREE

©Chiaung Chi Wai

HONG KONG PHILHARMONIC ORCHESTRA



Sinfonia

シンフォニア

ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン 指揮
香港フィルハーモニー管弦楽団 日本公演

Close up!
パリ管弦楽団 指揮 **ダニエル・ハーディング**
スペシャル・インタビュー

- ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート 2016-2017
- ニューイヤーコンサート2017 Line Up
- 日本センチュリー交響楽団 秋の定期演奏会 ほか

2016年9月～11月　コンサートカレンダー

シンフォニア
Sinfonia
Vol.17
2016.9-11月
2016.9.10 無料
「音楽で暮らしに感動を届ける」
ザ・シンフォニーホールの情報誌
www.symphonyhall.jp

contents

2 パリ管弦楽団 ダニエル・ハーディング スペシャル・インタビュー
4 ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート 2016-2017
5 ザ・シンフォニーホール 2017 ニューイヤーコンサート Line Up!!
6 香港フィルハーモニー管弦楽団 日本公演
7 ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート2016「アヴェ・マリア」
川井郁子 シンフォニックバレンタインコンサート2017
The Symphony Hall Big Band ～Music Director 菊池 寿人 ～ Vol.4
8 三浦一馬 バンドネオンリサイタル「クリスマス・タンゴ」
9 加藤ヒロユキ コンサート スペシャルゲスト 浜村淳 インタビュー
必聴!!ベートーヴェン 3大ソナタ「悲愴」「月光」「情熱」
10 朝日放送主催公演・イベント情報
14 日本センチュリー交響楽団 第211回 第212回 第213回 定期演奏会
15 日本センチュリー交響楽団 コンサートマスターと首席奏者たちが秋の定期演奏会を語る!
16 菅原洋一 コンサート 2017 ～私のこころに残る歌～
荒鷹子 チェロ・リサイタル 2017 思い出がいっぱい 珠玉のシネマ名曲SELECTION Vol.3
大阪交響楽団 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ Vol.7
17 サンクトペテルブルグ室内合奏団 クリスマス／アヴェ・マリア
ウィンナー・ワルツ・オーケストラ 宮殿晩餐コンサート
18 Welcome more musicians!
音楽を愛する団体が集うザ・シンフォニーホール
19 The Symphony Hall = ちもん,れいぶい 昔の音は偉かった 其の弐
名古屋フィルハーモニー交響楽団 大阪特別公演
ホールトピックス
20 澤舟邦彦 × 梅津時比古 スペシャル対談インタビュー
22 堀江政生のシンフォニア・アワー Vol.17
23 Concert Calendar 2016.9～11
チケットご購入のご案内

シンフォニア会員登録方法

登録費 年会費 無料!!

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ (http://www.symphonyhall.jp/) からご登録下さい。

携帯・スマートフォンをご使用の方はこちらからアクセスしていただけます。

▼ ハガキでのご登録

ご記入いただいた会員の情報を記載いただき、52円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

表紙の一枚 「香港フィルハーモニー管弦楽団 日本公演」

©シンフォニア掲載の写真・記事・イラストの無断転写・転載を禁じます。

Kyung-Wha Chung

チョン・キョンファ

J.S.バッハ無伴奏ソナタ&パルティータ
全曲演奏会

先行予約：9/22(木) 一般 発売：10/1(土)

J.S.Bach:
Sonatas & Partitas
for violin solo

アジアの至宝、チョン・キョンファ。
約1年をかけてニューヨーク・カーネギーホールほか、
欧米・アジアをめぐるワールドツアーで彼女が携えるのは
ヴァイオリン音楽の最高峰のひとつ、J.S.バッハの無伴奏ヴァイオリン作品。

「私の音楽の旅における尽きることのない探求の対象」と自身が語る作品とともに、
楽壇デビュー50周年を迎える彼女の集大成ともいえる、
圧巻の音楽世界が繰り広げられる!

[ヴァイオリン]チョン・キョンファ
J.S.バッハ：ソナタ 第1番 ト短調 BWV.1001
パルティータ 第1番 ロ短調 BWV.1002
ソナタ 第2番 イ短調 BWV.1003
パルティータ 第2番 ニ短調 BWV.1004
ソナタ 第3番 ハ長調 BWV.1005
パルティータ 第3番 ホ長調 BWV.1006

2017. 1/25(水) 7:00PM
S 10,000円 A 7,000円 B 5,000円
9/22(木)発売
10/1(土)一般

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問い合わせ]エス・ビー・エース 06-6204-0412
[主催]プリマフェーラ ザ・シンフォニーホール

ダニエル・ハーディング スペシャル・インタビュー

ダニエル・ハーディングと パリ管弦楽団との フレッシュなコンビが初来日！

5年ぶりにザ・シンフォニーホールに帰ってくるハーディングは、十八番であるマーラーの交響曲第5番を披露。ジョシュア・ベルのヴァイオリンも楽しみ。

パリ管の新音楽監督、ハーディング

フランスを代表するオーケストラであるパリ管弦楽団は、1967年に、その前身であるパリ音楽院管弦楽団を発展的に解消して結成された。来年創設50周年を迎えるが、パリ音楽院管弦楽団は1828年まで歴史を遡ることができ、ベルリオーズなど多くのフランス人作曲家の作品を初演した。パリ管弦楽団では、これまでにミュンシュ、ショルティ、バレンボイム、ビシュコフ、エッシェンバッハ、パーヴォ・ヤルヴィなど現代を代表する名指揮者たちが音楽監督を務めてきた。

この9月、パリ管弦楽団の新しい音楽監督にダニエル・ハーディングが41歳の若さで就任する。1975年イギリス生まれの彼は、早くからラトルやアバドに才能を見出され、94年にバーミンガム市交響楽団を指揮してデビューし、96年には弱冠21歳でベルリン・フィルを指揮した。その後、ドイツ・カンマーフィルやマーラー・チェンバー・オーケストラなどの音楽監督を歴任。まさに鬼才というべき若きマエストロである。

そんなハーディングが音楽監督就任後すぐに、パリ管弦楽団とともに日本にやってくる。ハーディングがザ・シンフォニーホールに登場するのは、2011年6月のマーラー・チェンバー・オーケストラとのブラームス交響曲全曲演奏会以来、5年ぶりである。また、パリ管弦楽団のザ・シンフォニーホールでの演奏は1993年以来、23年ぶりとなる。

相性抜群のハーディングとパリ管

ハーディングは、この5、6月、2年ぶりにパリ管弦楽団を指揮した。音楽監督就任決定後初めての共演であった。

「ベルクのヴァイオリン協奏曲とマーラーの交響曲第4番を演奏しました。とてもエキサイトして、彼らと日本に来るのが楽しみになりました。彼らとは相性が良いので、一緒にいるのが楽しいのです。新しくできたフィルハーモニー・ド・パリは素晴らしいホールで、ここを本拠地にできるのは本当にラッキーだと思います。6月21日は、フランスの音楽の祝日（フェット・ド・ラ・ミュージック）で、通りや広場や美術館やホールやバーなど街のいたるところで音楽が無料で聴けるのですが、私たちはルーヴル美術館のピラミッドの下でマーラーの交響曲第4番を演奏しました。ルーヴルは美しいところですが、コンサート向けではなく、お風呂場で演奏しているようでした。でも、普段コンサートには来ないような人々が来てくれて、とても刺激を受けました。

パリ管弦楽団の魅力は、個々のメンバーが素晴らしい個性を持っていることです。個性的な個々人が集まった、個性豊かなオーケストラなのです。私は、個性がないよりも個性があり過ぎるくらいの方が好きです。パリ管弦楽団は木管楽器の優秀さが有名ですが、他の楽器も素晴らしい。比較的若いメンバーの多いオーケストラで、若いエネルギーと好奇心があり、歴史に対する誇りもある。そして新しいことを学ぶ姿勢を持っています。パリ管弦楽団の個性や生き生きとした面は、ザ・シンフォニーホールにとても合うと思います」

「マーラーの第5番のすべてを聴いていただきたい」

大阪では、マーラーの交響曲第5番とメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲が演奏される。マーラーの第5番の聴きどころをきいてみた。

「我々の仕事は、この曲をこういう風に聴いてもらおうとするのではなく、作品そのものを生き生きと響かせることだと思っています。マーラーの交響曲第5番には、矛盾や壮大さ、対照的な要素など、いろいろなものがたくさん詰まっています。そのすべてを聴いていただきたいと思っています」

メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲ではアメリカ出身の人気ヴァイオリニスト、ジョシュア・ベルが独奏を務める。

「最も才能のある、最高の音楽家の一人だと思います。聴衆だけでなく他の音楽家とのコミュニケーションの能力が高いのです。自然な音楽家。ヴァイオリンに長けているのはいうまでもありません。彼とは長い付き合いですが、演奏するたびに、もっと共演したいと思います」

9月からはいよいよハーディングとパリ管弦楽団の新しい時代が始まる。"音楽監督就任披露演奏会ではシューマンの大曲「ゲーテの『ファウスト』からの情景」を取り上げる。そして11月には日本ツアーがある。マーラーの交響曲第5番とメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲（ベル独奏）は、11月上旬のパリのコンサートで演奏したあと、日本に持ってくる。ハーディングとパリ管弦楽団がどんな音楽を生み出すのかまさに興味津々である。

「パリ管弦楽団との共同作業はとても大きなプロジェクトです。我々の新しい冒険が始まります。なかでも日本公演はとても大切です。短期間でたくさんのコンサートに集中することは指揮者とオーケストラが関係を築く上で重要です。この5、6月のコンサートを終えて、我々はますます今後にワクワクしています。今から日本公演をとても楽しみにしています」

（山田治生）

ダニエル・ハーディング指揮 パリ管弦楽団

[指揮]ダニエル・ハーディング [ヴァイオリン]ジョシュア・ベル
[管弦楽]パリ管弦楽団

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64
マーラー：交響曲 第5番 嬰ハ短調

2016.11/22(火)7:00PM
S 19,000円 A 16,000円 B 13,000円
プレミアムペアシート（12ペア、24席限定） 50,000円*
*ダニエル・ハーディング サイン入りパンフレット2冊とお席代金
ザ・シンフォニー チケットセンター電話・窓口でのみ取り扱い。

発売中

[ご予約・お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[協力]KAJIMOTO [主催]ザ・シンフォニーホール

11月22日は11（いい）22（夫婦）の日！
ご夫婦、カップル、お友達…どんなペアでもパリ管の名演を超真近で満喫できる"プレミアムペアシート"2ペア限定の特別席。お求めはお早めに！
指揮者ダニエル・ハーディングのサイン入りパンフレットをプレゼント！*
*ペアシートにつき2冊進呈いたします。
ザ・シンフォニー チケットセンター 電話・窓口でのみ取り扱い

The Symphony Hall countdown concert 2016-2017

ザ・シンフォニーホール

カウントダウン コンサート 2016-2017

先行予約 9/22(木) 一般発売 10/1(土)

今年もやって来る！楽しい音楽、華やかなダンス、光と映像による驚きの演出で迎えるザ・シンフォニーホールのカウントダウン！

あなたは新たな年が始まる瞬間をどのように過ごしますか？
ザ・シンフォニーホールは、大迫力の音楽と楽しいダンス、そしてサプライズ満載のステージで、
2017年のスタートをみなさまと一緒に迎えるための特別な一夜を準備してお待ちしています！
心躍るステージを届けてくれるのは、パリで活躍する実力派歌手とダンサーたち。心に響く珠玉のオペラ・アリアや心弾むワルツのリズム。
さらに豪華な会場の装飾、新年の鏡割り、大迫力の和太鼓の演奏など、驚きの演出の数々が華やかな年末年始をよりいっそう盛り上げます。
大晦日の夜、心沸き立つカウントダウンのステージへ是非お越し下さい！

[ソプラノ] 澤内奈々 / [メゾソプラノ] クレモンティーヌ・ドゥクチュール / [メゾソプラノ] アリマ・マンディ / [テノール] ジェレミー・シュッツ / [バリトン] フィリップ・プロカール / [ダンス] アレクシア・ボ / [ダンス] エマニュエル・イーブリッチ / [ダンス] ロドルフ・フイヨウ / [指揮] アドリアン・ペリュション

2016年12月31日(土) 22:00開演

S 7,000円 A 6,000円 B 5,000円

[ご予約 お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール
[協力] 名鉄観光サービス株式会社 / 宝酒造株式会社

[ソプラノ] 澤内奈々、クレモンティーヌ・ドゥクチュール [メゾソプラノ] アリマ・マンディ
[テノール] ジェレミー・シュッツ [バリトン] フィリップ・プロカール
[ダンス] アレクシア・ボ、エマニュエル・イーブリッチ、ロドルフ・フイヨウ [指揮] アドリアン・ペリュション
[オーケストラ] The Symphony Orchestra [和太鼓] 和太鼓松村組

ヨハン・シュトラウスII：喜歌劇「こうもり」序曲 / ランナー：歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」
ヴェルディ：歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」 / J.シュトラウスI：ラデツキー行進曲
ミュージカルソング「レ・ミゼラブル」「エビータ」ほか / 久石譲：「風の上の雲」より「スタンドアローン」ほか

※ステージ写真は2015年12月31日開催「シルベスターガラコンサート」の様子です。

The Symphony Hall 2017 ニューイヤーコンサート Line Up!

1年の幕開けを心躍る音楽と共に祝う。
ニューイヤーコンサート。
2017年新春も豪華で華やかな公演が並びます！
1年の始まりを、ザ・シンフォニーホールで
楽しい音楽と共に過ごしませんか？

1/1 Sun 3:00PM

発売 9/22(木・祝)～10/1(土)

ザ・シンフォニーホール ニューイヤーコンサート2017

[ソプラノ]澄岡奈々、グレモンティーヌ・トゥクチュール　[メゾソプラノ]アリマ・マンディ
[テノール]ジェレミー・シュッツ　[バリトン]フィリップ・フロカール
[ダンス]アレクシア・ボ、エマニュエル・イーブリッチ、ロドルフ・フイヨウ
[指揮]アドリアン・ペリション　[管弦楽]The Symphony Orchestra
[和太鼓]和太鼓組村組

ビゼー　歌劇「カルメン」より
ファリャ　歌劇「はかなき人生」より
リュック・ブロエ　ワルツ「ボルカノ」
ヨハン・シュトラウスⅡ　ワルツ「美しく青きドナウ」
ヴェルディ　歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」　ほか

S 7,000円　A 6,000円　B 5,000円

[お問い合わせ]アンフィニーテケットセンター　06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

珠玉のオペラアリアの名曲はじめ華やかな音楽と共に迎える元旦！
晴れやかな気分で新年に相応しい楽しい演出も！

1/3 Tue 2:00PM　6:00PM

発売 9/22(木・祝)～10/1(土)

ザ・シンフォニーホール ニューイヤー祝祭コンサート

[バリトン]ウェン・ギルチノーヴァ
[ドラマティック・ソプラノ]ラトスティーナ・ニコラエヴァ
[アルト]エレーナ・チャフダローヴァ　[テノール]ミハイル・ミハイロフ
[バス]ブラメン・ペイコフ　[指揮]守山惠善　ほか

[誰も寝てはならぬ]「椿姫」より「乾杯の歌」「ドン・カルロ」より「友情の二重唱」ほか
R.シュトラウス　交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」より
ラフェル　ボレロ
ヨハン・シュトラウスⅡ　ワルツ「美しく青きドナウに」ほか
ヴェルディ　歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」　ほか

S 6,000円　A 5,000円　B 4,000円

[お問い合わせ]アンフィニーテケットセンター　06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

世界を舞台に活躍する名歌手達による珠玉のアリア！華やかなバレエ、オーケストラと共に過ごす優雅な夜。

1/7 Sat. 2:00PM

発売中

21世紀の新世界

[指揮]藤山智博　[ピアノ]外山雄介
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

チャイコフスキー　歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ポロネーズ」
ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 作品23
ドヴォルザーク　交響曲第9番 ホ短調「新世界より」作品95

S 5,500円　A 4,500円

[お問い合わせ]関西フィルチケットインフォメーション
06-6453-6000
[主催]朝日放送／朝日新聞社

大阪が生んだマエストロ藤山智博、ピアノ界のプリンス外山雄介。
次世代を担う若き才能が新春に登場！

©A.yamamoto

1/8 Sun 2:00PM

→ 9/16(土)

ウィンナー・ワルツ・オーケストラ ～宮殿祝賀コンサート～

[管弦楽]ウィンナー・ワルツ・オーケストラ
[指揮]サンドロ・クトゥレーロ
ほか ソプラノ他、ダンサー他

美しく青きドナウ／皇帝円舞曲
レハール　メドレー／常動曲
歌劇「こうもり」より序曲　ほか

S 8,000円　A 4,500円　B 3,000円

[お問い合わせ]
エースプロモート　06-6341-1171
[主催]朝日放送／エースプロモート

楽園るシュトラウスの音楽で奏る、きらびやかなウィーン舞踏会の世界！

10月発売予定

1/28 Sat. 2:30PM New Year Concert おおさか 2017

[指揮]阪哲朗(関西)　[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団
[独唱]福田祥子、谷浩一郎、泉境子　ほか 合唱団予定

ベートーヴェン　第9交響曲より「歓喜の歌」
ヨハン・シュトラウスⅡ　美しく青きドナウ
ベルディ　行け思い乗って

S指定席8,000円　A指定席5,500円　B指定席4,000円

[お問い合わせ]大阪アーティスト協会　06-6135-6500
[主催]朝日放送、大阪フィルハーモニー交響楽団

全人類に捧げられる「第九」、感動の名曲が新日本語詞でよみがえる！

チケットのご予約

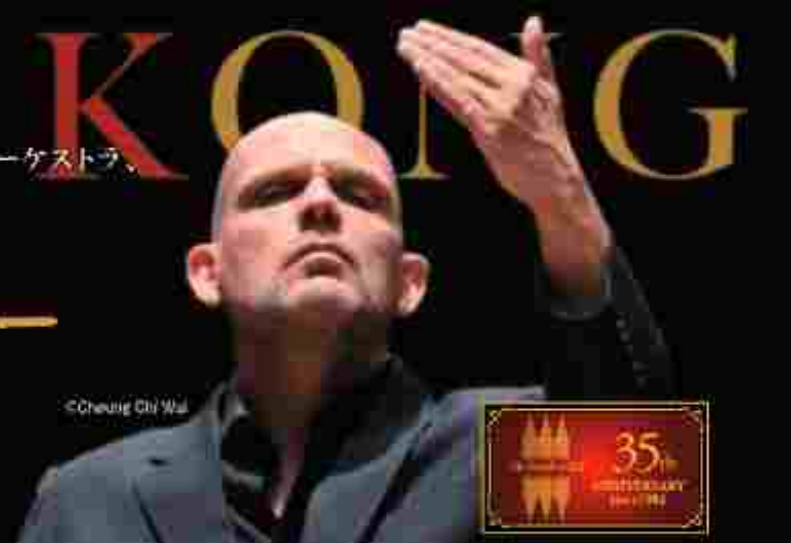
ザ・シンフォニー
チケットセンター
06-6453-2333

HONG KONG

鬼才ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン率いるアジアの名門オーケストラ、
香港フィルハーモニー管弦楽団が29年ぶりに来日！

ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン 指揮

香港フィルハーモニー管弦楽団 日本公演



先行予約：9/22(木)　一般発売：10/1(土)

2015年のヨーロッパ・ツアーで大成功をおさめ、国際的に高い評価を得ている香港フィルハーモニー管弦楽団。中国出身の天才ヴァイオリニスト、ニン・フェンとのバルトークのコンチェルトなど意欲的なプログラムがザ・シンフォニーホールに響く。

歴史と伝統を誇るアジア屈指のオーケストラ

2017年4月、香港フィルハーモニー管弦楽団がザ・シンフォニーホールに登場。1988年以来の来日、今回はザ・シンフォニーホールのみの公演とあって、大きな注目を集めている。

アジア屈指のオーケストラとして知られる香港フィルハーモニー管弦楽団が設立されたのは1974年だが、その前身は1895年の中英管弦楽団にまで遡ることができる。イギリスの植民地として東洋と西洋の架橋でダイナミックな変化を遂げた香港の歴史とともに、アジアにおけるクラシック音楽文化を牽引してきた。近年はエド・デ・ワールト(2004年-2012年)、ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン(2012年-)というオランダの名指揮者を音楽監督に迎え、マーラーの交響曲全曲(第8番を除く)、コンサートオペラ形式によるリヒャルト・シュトラウス、ブッチーニなどの作品の上演、ワーグナー(ニーベルングの指輪)完全版の演奏・録音プロジェクトなど、次々と挑戦的な企画に取り組み、新境地を切り拓いている。

ズヴェーデンのエネルギッシュな指揮に期待

今回のザ・シンフォニーホールでのコンサートの聴きどころは、何と言っても2018/19シーズンからニューヨーク・フィルハーモニックの音楽監督に就任し、香港フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督と兼務することになったヤープ・ヴァン・ズヴェーデンの活気あふれるダイナミックな指揮ぶりだろう。彼が今回選んだ曲目はバルトーク《ヴァイオリン協奏曲第2番》とブラームス《交響曲第1番》。ヴァイオリンの天才児として名を馳せ、18歳の若さでロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団のコンサートマスターに就任したという経歴を持つ彼がソリストに指名したのは、中国出身の気鋭のヴァイオリニスト、ニン・フェン。"暁年のユーディ・メニューインの薫陶を受け、2006年のパガニーニ国際コンクール優勝など数々のコンクールで輝かしい成績をおさめたニン・フェンは、現在ドイツを拠点に国際的に活躍している。2015年のヨーロッパ・ツアーでも共演し、ウィーン楽友協会ホールでのベートーヴェンのコンチェルトの瑞々しい演奏は話題を呼んだ。今回のバルトークの最盛期の傑作《ヴァイオリン協奏曲第2番》では、超絶技巧を駆使してズヴェーデン率いるオーケストラと調和しながら華麗に繰りなす色彩とリズムの融合を楽しませてくれるに違いない。

後半のブラームス《交響曲第1番》は、ハンス・フォン・ビューローがベートーヴェンの「第10交響曲」と称賛した作品だが、ブラームスはベートーヴェンを意識しつつ独自の重厚な響きと叙情あふれる旋律で、人間の「暗闇から光への勝利の道程を鮮やかに描き出している。ズヴェーデンの情熱的な指揮のもと、香港フィルハーモニー管弦楽団の奏くような音色がザ・シンフォニーホールに響き、感動に満ちたコンサートが繰り広げられることだろう。

(音楽評論家 山崎浩太郎)

【指揮】ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン
【ヴァイオリン】ニン・フェン
【管弦楽】香港フィルハーモニー管弦楽団

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番
ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 op.68 ほか

2017.4/18(火)7:00PM

S 8,500円　A 7,500円　B 5,000円

9/22(木)先行
10/1(土)一般

[ご予約・お問い合わせ]
ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]The Hong Kong Philharmonic Society Limited・
ザ・シンフォニーホール

響き渡るパイプオルガンの調べ。心の底から湧き起る感動のアヴェ・マリア。

先行予約 9/22(木)
一般発売 10/1(土)

ザ・シンフォニーホール
クリスマス オルガンコンサート2016「アヴェ・マリア」

清らかなパイプオルガンの音色に心癒される「クリスマス オルガンコンサート2016」。シューベルト、カッチーニ、グノーなど、今も聴く人を魅了してやまない偉大な作曲家たちが愛なる祈りを込めて残した「アヴェ・マリア」。これらはどれも、優しさ、切なさ、人間の感情を、あたたかな光で包み込む慈愛に満ちた名曲ばかりです。そして「もろびとこぞりて」「きよしこの夜」などのクリスマスキャロルメドレー、荘厳な讃美歌の数々が、夜空に輝く満天の星のように、美しく幻想的にホールに響き渡ります。

さらに、バロック音楽の大家で、オルガンの名手でもあった J. S. バッハの「トッカータとフーガ ニ短調」では、これをオルガン曲の代名詞といえる心躍る旋律からたっぷりとパイプオルガンの魅力を感じて頂けます。

演奏は、芸術性に富んだ神秘的な音色と、色彩豊かなレジストレーションとアレンジで鮮烈な感動を届けてくれる、注目のオルガニスト・石丸由佳。7月に"超絶のスター・ウォーズ"、"真夏のオルガンコンサート"同公演を大成功させた彼女が描き出す、壮麗なクリスマスファンタジーをぜひお楽しみください。

[オルガン]石丸由佳
(第22回 シャルトル国際オルガンコンクール優勝)
カッチーニ：アヴェ・マリア
グノー：アヴェ・マリア
シューベルト：アヴェ・マリア
アルカデルト：アヴェ・マリア
フォーレ：アヴェ・マリア (op.67-2)
J.S.バッハ：トッカータとフーガ ニ短調 BWV.565
クリスマスキャロルメドレー ほか

2016.12/15(木)7:00PM
全席指定 2,000円
先行予約 9/22(木)
一般発売 10/1(土)

[ご予約・お問い合わせ]
ザ・シンフォニーホール チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール
[協力]名鉄観光サービス株式会社

シャンソン、クラシック、シネマ・ミュージック、様々なジャンルから珠玉の「愛の曲」をお届け

先行予約 9/22(木)
一般発売 10/1(土)

川井郁子　シンフォニックバレンタインコンサート2017

1年に1度、胸に秘める熱い想いを伝える日、バレンタインデー。ロマンチックなムードがたっぷりのこのシーズン、ザ・シンフォニーホールのステージに大人気ヴァイオリニスト川井郁子を迎え「シンフォニックバレンタインコンサート2017」が開催されます。

特別な1日にお届けするプログラムに、クラシックの小品やシネマ・ミュージック、シャンソンなど、多岐にわたるジャンルから様々な"愛の曲"をセレクト致しました。"悲情"、"愛の賛歌"、"ニューシネマパラダイス"など、誰もが耳にしたことのある珠玉の名曲が並びます。

片想いだったあの人に、初めて想いを伝える日。"いつもありがとう。元気でいてね"と感謝の想いを伝える日。"大好きな恋人に溢れる想いを伝える日。"大切な人とともに過ごす幸せな1日に、ヴァイオリンミューズ川井郁子がみなさまをエスコート致します。

[ヴァイオリン]川井郁子
[ピアノ]フェビアン・レザ・パネ ほか
悲情 / 黒い瞳 / 愛の讃歌 / 恋のアランフェス～レット・ヴァイオリンふるさと / チャールダーシュ / ニューシネマパラダイス
オー・シャンゼリゼ / 春の声 / ホワイト・レジェンド / 白鳥 (ほか)

2017.2/11(土)2:00PM S 5,000円 A 4,000円
先行予約 9/22(木)・先日
一般発売 10/1(土)一般

[ご予約・お問い合わせ]ザ・シンフォニーホール チケットセンター 06-6453-2333
[主催]アイクイ・オフィス／ザ・シンフォニーホール

The Symphony Hallプロデュース、ここでしか聴けない大迫力のビッグ・バンド・ジャズ。今秋1stCDアルバムの発売も決定!

先行予約 9/22(木)
一般発売 10/1(土)

The Symphony Hall Big Band ~Music Director 菊池 寿人 ~ Vol.4

大好評のザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドの公演が早くも4回目を迎える。

第一線で活躍し続ける一流のプレイヤー達の演奏とザ・シンフォニーホールならではの音の響きの融合は、"ここでしか味わえないなんとも贅沢な空間"である。

これまで様々な豪華ゲストを迎えてきた本公演だが、Vol.4では初のボーカリストとのコラボレーションとしてアノール歌手、加藤ヒロユキの出演が決定。

歌手だけでなく、作詞家、作曲家、またはラジオのパーソナリティーなど幅広い分野で活躍をしているが、やはり一番の彼の魅力はその歌声。多彩な歌声を駆使し様々なジャンルを歌い上げる"迫力のビッグバンドサウンドとその伸びやかな歌声とのスペシャルセッションは必聴だ。

演奏曲は映画"ティファニーで朝食を"の主題歌でアカデミー歌曲賞を受賞した「Moon River」や故ピアニスト、ミッシェル・カミロ作曲でラテンジャズの代表的な曲でもある「Caribe」、加藤ヒロユキをゲストに迎えての「New York, New York」、"想い出のサンフランシスコ"など。耳馴染みの良い名曲が並び、ビッグバンドに馴染みのなかった方でも楽しめる曲目となっている。

是非、耳で目で体でこの感動を体験して頂きたい!

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[スペシャルゲスト]加藤ヒロユキ
Moon River
Begin the Beguine
Caribe (ほか)

2017.1/27(金)7:00PM
S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円
先行予約 9/22(木)・先日
一般発売 10/1(土)一般

[ご予約]
ザ・シンフォニーホール チケットセンター 06-6453-2333
[お問い合わせ]
アーバイン 06-6964-6797 (月～金 10:00-19:00)
[主催]ザ・シンフォニーホール
[協力]名鉄観光サービス株式会社

三浦一馬 バンドネオン リサイタル

Kazuma Miura Bandoneon recital "Christmas Tango"

「クリスマス・タンゴ」

バンドネオン界の気鋭、三浦一馬が
銘器Alfred Arnoldでお届けする「クリスマス・タンゴ」

先行予約：9/22(木)　一般発売：10/1(土)

バッハ×ピアソラ…実は意外な組み合わせではない！
バンドネオンのご先祖さまは、携帯型パイプオルガンだった。クリスマスらしい響きに包まれたプログラム

日本の若手音楽家の旗手、三浦一馬。バンドネオン界に新旋風を巻き起こした彼は、今年でデビュー10周年を迎えた。

ドイツ発祥の楽器、バンドネオン

ピアソラ・ブームで日本でも知られるようになったバンドネオン。アルゼンチンタンゴの楽器として知られるバンドネオンは、実はドイツ生まれだ。

「バンドネオンの基本的な構造は、アコーディオンとほぼ同じで、蛇腹を動かすと空気が発生します。バンドネオンでは、発生させた空気を両端に送り込むのです。この楽器のなかに、金属のリードが何百枚も入っていて、それらを振動させて音を出します。僕のバンドネオンは戦前のドイツ製で、僕の師匠であるマルコーニが使っていた楽器を譲っていただきました」

バンドネオンには鍵盤はなく、象牙のボタンが左右の端の表面につ いている。象牙の使用は今は禁止されているが、古い楽器ゆえにそのまま用いられている。そのボタンの配列は、特殊に複雑だ。

「ボタンの配列はランダムで、しかも左右のボタンはまったく違う配置なのです。それから、蛇腹を閉じた時も、音の変わるポイントです。例えば、引っ張った時は"ド"でも押すと"レ"の音が鳴ります」

バンドネオンの不思議な音色…それは僕にとって、初めての大人の世界だった

そう語る三浦は、10歳でバンドネオンを始め、小学校6年生で初めてライヴに誘んだ。その頃から、小さなステージを次々と経験してゆく。

「誰かに聞いてもらいたいという欲望だけは、人一倍強い少年でした。生意気ながら、ステージで演奏していただいたという気持ちがとても強いのです。素晴らしい先輩がたや仲間と舞台上の音楽を通じて、教えていただきました」

16歳の時、転機が訪れた。

「自分は何者なのか、と。自分の立ち位置をはっきりさせようと思ったのです。16歳でプロデビュー。コンサートと銘打って、デビューリサイタルを開きました。また、マルコーニと出会ったのも16歳。別府アルゲリッチ音楽祭へ参加のひとりとして足を運んだ際、彼に誘いてもらう機会をいただき、その翌日にはレッスンしてくださったのです」

三浦が贈るクリスマス・プログラムは、バッハ&ピアソラの2本立て

この12月、三浦はザ・シンフォニーホールで、リサイタルを開催。ところで、バンドネオンでなぜバッハを演奏するのか？

「バンドネオンは、パイプオルガンの代用品として作られました。バンドネオンでバッハを弾くことは、ある意味で原点とも言えます。前半ではバッハをとり上げます。バンドネオンで携がよく取り組んでいるのは、コラールです。バンドネオンの音には、人間の声に近いものがあると僕は思っています。そして後半はピアソラ作品で、ブエノスアイレスの冬などの名曲も揃えました。クリスマスらしい選曲のプログラムを聴いていただければと考えました。ザ・シンフォニーホールは僕の大好きなホールで、オーケストラと一緒に演奏しても、自分の音をとても心地よく、響かせることができます。それから、パイプオルガンのあるホールって、実は好きです。バンドネオンのご先祖さまですから」

何より今、三浦は大阪が好きなのだ。

「食文化をはじめ、さまざまな文化、人柄にいたるまで、大阪の町にはラテンに通じるものを感じます。そのような雰囲気のなかでバンドネオンやピアソラ、そしてバンドネオンで弾くバッハをあたたかく迎え入れていただけましたら、僕としてはこんなに嬉しいことはありません」

（瀬下 玲子）

[バンドネオン]三浦一馬　[ピアノ]松本和将

J.S.バッハ：コラール「目覚めよ、と呼ぶ声あり」BWV645
アヴェ・マリア(ツノー編曲)
「主よ、人の望みの喜びよ」BWV147
ディアブリ：コラール集より
「いと高きところにいます神にのみ栄光あれ」BWV662 / BWV664
コラール「最愛のイエスよ、われらここに集いて」BWV731
ピアソラ：来たるべきもの / アディオス・ノニーノ
天使のミロンガ / アヴェ・マリア
ブエノスアイレスの冬 / リベルタンゴ ほか

2016. 12/16(金) 7:00PM　2,500円　9/22(木)先行 / 10/1(土)一般

[ご予約・お問い合わせ] ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
[主催]テレビマンユニオン / ザ・シンフォニーホール [協力]名鉄観光サービス株式会社

名演奏と名解説がコラボレート、何本もの映画を観るかのような充実のステージ

発売中

加藤ヒロユキ　コンサート
スペシャルゲスト 浜村淳 インタビュー

日本を代表するラジオパーソナリティで、映画評論家でもある浜村淳が「加藤ヒロユキの華麗なる映画音楽の世界」にスペシャルゲストとして登場。名調子で名曲と共演する。

「加藤さんの声は素晴らしいし、歌もとても上手ですからね。解説もいっそう盛り上がるんです」と切り出した。加藤とはプライベートでも親交があり、歌と解説での共演の経験も。今回のステージでは、「風と共に去りぬ」から「タラのテーマ」や「カサブランカ」から「As Time Goes By」など、選りすぐりの名画からの名旋律が並ぶ。

「ここに挙がっている映画は、すべて私の心にしっかり刻みつけられています。そして、これらのテーマ曲もまた名曲揃いで、大ヒットを記録していますね。一方で、誰にでも口ずさめるような親しみやすさも持ち併せています。お客様は、絶対にお喜びになると思いますよ」と太鼓判を押す。そして、「自身にとって、最も音楽が印象的だった映画は？」と尋ねると、「『ひまわり』ですね」と間髪を入れず、答えが返って来た。

「地平線の果てまで広がる、ひまわり畑。黄金の花に、鮮やかな緑の茎と葉。そこをすーっと風が渡ってゆく…」「出征したまま帰らぬ夫を、捜し当てたソフィア・ローレン。しかし、夫は別の女性と…」「動き出す汽車に飛び乗り、車の窓をそこへ放り出して、『うわーっ』と泣くんですね。そこへ、テーマ曲がかぶさってゆきます…」。お馴染みの、名調子による解説。一切なくても美しい場面が、つぶさに眼前へ迫ってくる。

「加藤さんの素晴らしい歌と私の解説によって、映画を1本、2本、3本…と、聴いていた曲の数だけ、ご覧になった気分になっていただけるよう、舞台を進めてまいります。特に、その映画を観た経験のある方なら必ず『あぁ、懐かしいな』と、思い出を蘇らせていただけるはず。以前、あるラジオ番組で、私は『思い出は映画と共に』なんて、よく言っていましたが、まさにそう。ぜひ、1人でも多くの方に、おいでいただきたいですね」。熱っぽく、聴衆へ訴え掛けた。（垂玉和人）

[歌]加藤ヒロユキ　[ピアノ]宮川真由美
[ギター]吉川忠義　[ヴァイオリン]金関 環
[ベース]中村安彦　[パーカッション]池田安友子
[スペシャルゲスト]浜村 淳
「風と共に去りぬ」より タラのテーマ
「カサブランカ」より AS TIME GOES BY
「旅情」より ベニスの夏の日　「ひまわり」
「ロミオとジュリエット」　ほか

2016.10/20(木)6:00PM　全席指定 6,500円

[ご予約]サンシンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問い合わせ]エス・ビー・エース 06-6204-0412
[主催]エス・ビー・エース/サンシンフォニーホール/オンリム

大阪出身の気鋭のピアニスト、関本昌平がベートーヴェン3大ソナタ「悲愴」「月光」「熱情」に挑む。

先行予約 9/22(木)
一般発売 10/1(土)

必聴!!ベートーヴェン 3大ソナタ
「悲愴」「月光」「熱情」

自筆譜に向き合い、ベートーヴェンが音符に込めた思いを読み解きながら名曲の新たな魅力を探る。

ショパン国際ピアノコンクール第4位など輝かしい受賞歴を持つ若手実力派ピアニスト、関本昌平。パリのエコール・ノルマル音楽院を卒業後、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに籍を置いて演奏活動を展開していたが、2009年にニューヨークに渡り、自身の音楽を見つめ直した。

「新しい環境に身を置いて自分を試してみたかったのです。ニューヨークで様々な楽器の演奏家に出会い、彼らの作曲家や作品に対する膨大な知識量に圧倒されました」

説得力のある演奏を目指して、彼が取り組んだのは作曲家自身が書いた「自筆譜」の研究。何度も書き直した跡が残る自筆譜を読み解き、作曲家の思いや作品の背景を知ることで、アプローチの可能性が広がったという。

現在は日本に拠点を移し、後進の指導にあたる傍らピアニストとして充実した季節を迎えている。そんな彼が奏でるベートーヴェンの3大ソナタ「悲愴」「月光」「熱情」。ベートーヴェンが20代後半から30代前半に書いた傑作に、同世代の音楽家としてどのように迫るかが腑きどころだ。自筆譜に向き合い、従来の解釈や定説から自由になれたと語る彼の演奏は、よく知られたベートーヴェンの名曲の新たな魅力を発見させてくれることだろう。10代の頃から驚くべき技巧と繊細なニュアンスに富んだ音色には定評があるが、さらに磨きがかかった美しい音色がザ・シンフォニーホールに響き、ベートーヴェンの心の軌跡が生き生きと描き出されるに違いない。（森岡葉）

[ピアノ]関本昌平

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調「悲愴」op.13
第14番 嬰ハ短調「月光」op.27-2
第23番 ヘ短調「熱情」op.57

2017.3/4(土)2:00PM
全席指定 3,000円

9/22(木)発売
10/1(土)一般

[ご予約・お問い合わせ]
サンシンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール
[後援]一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会
[協力]名鉄観光サービス株式会社

日本センチュリー交響楽団

Japan Century Symphony Orchestra

第211回 定期演奏会

Check Here!
マエストロ・ポンマーの
メッセージを聞こう!

バルトーク：
ヴァイオリン協奏曲 第2番 BB117
ブラームス：交響曲 第2番 ニ長調 作品73

指揮 マックス・ポンマー
ヴァイオリン オーガスティン・ハーデリッヒ

2016
9.23金・24土
23日 / 19:00開演(18:00開場)
24日 / 14:00開演(13:00開場)

主催/お問合せ：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 TEL.06-6868-0591 http://www.century-orchestra.jp/ 助成：文化庁 文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

第212回 定期演奏会

Check Here!
マエストロ・プリバエフの
メッセージを聞こう!

チャイコフスキー：
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
プロコフィエフ：アレクサンドル・ネフスキー 作品78

指揮 アラン・プリバエフ
(日本センチュリー交響楽団首席客演指揮者)
ピアノ エフゲニー・ストピン
メゾ・ソプラノ 小山由美
合唱 大阪センチュリー合唱団
大阪音楽大学合唱団

2016
10.28金・29土
28日 / 19:00開演(18:00開場)
29日 / 14:00開演(13:00開場)

主催/お問合せ：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 TEL.06-6868-0591 http://www.century-orchestra.jp/
助成：文化庁 文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)(事業)／公益財団法人朝日新聞文化財団 公益財団法人三菱UFJ信託奨学会

第213回 定期演奏会

Check Here!
マエストロ・飯森範親の
メッセージを聞こう!

モーツァルト：
歌劇「後宮からの逃走」序曲(25日)
リュリ：バレエ音楽「町人貴族」
～トルコ人の儀式のための行進曲(26日)
モーツァルト：ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467
ファジル・サイ：交響曲 第1番「イスタンブール・シンフォニー」 作品18

指揮 飯森範親 (日本センチュリー交響楽団音楽監督)
ピアノ ファジル・サイ

2016
11.25金・26土
25日 / 19:00開演(18:00開場)
26日 / 14:00開演(13:00開場)

一般発売日 2016年9月21日(水)

主催/お問合せ：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 TEL.06-6868-0591 http://www.century-orchestra.jp/
助成：文化庁 文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
公益財団法人 ホール・シンフォニーホーム・フォンセック音楽財団

vuvu

会場：ザ・シンフォニーホール

S席 7,500円 / A席 6,000円 / B席 4,500円 / C席 3,500円 / D席 1,500円 ●未就学児童入場不可

チケットのお求めはこちら

- センチュリー・チケットサービス TEL.06-6868-0591 (平日10:00～18:00)
- センチュリー・ネットチケット http://www.century-orchestra.jp/ticket/
- ザ・シンフォニーチケットセンター TEL.06-6453-2333 (10:00～18:00 休館日)
- チケットぴあ TEL.0570-02-9999
  第211回定期演奏会 Pコード:286-008
  第212回定期演奏会 Pコード:286-009
  第213回定期演奏会 Pコード:286-010

文化庁

日本センチュリー 検索

オフィシャルスポンサー MEC竹中グループ / 共栄法律事務所 / KINCHO / Takashimaya / 高松コンストラクショングループ / TOA株式会社

日本センチュリー交響楽団

Japan Century Symphony Orchestra

コンサートマスターと首席奏者たちが秋の定期演奏会を語る！

関西を代表するオーケストラのひとつとして、目覚しい活躍を見せる日本センチュリー交響楽団。2014年、首席指揮者に飯森範親を迎えてからは、緻密なアンサンブルに磨き上がるような勢いが加わり、多くの聴衆を獲得しつつある。そのセンチュリーがこの秋から冬にかけての定期演奏会で、3つの意欲的なプログラムに取り組む。

7月のある日、センチュリーが本拠を置く豊中市服部緑地公園のオーケストラハウスで、3人の楽団員に話を聞いた。

[コンサートマスター　ヴァイオリン]
松浦奈々

「マックス・ポンマーさんは、前回のリハーサルがとても楽しかった」。

プログラムに目を落としながら、そうつぶやいたのはコンサートマスターの松浦奈々。オーケストラを統率しつつ、情熱的な演奏を聴かせる彼女のファンは多い。

マックス・ポンマーの登場は2回目。昨年の第199回定期演奏会ではベートーヴェンの交響曲第3番「英雄」を演奏し、忘れがたい印象を残した。

今回の、ブラームスの交響曲第2番について、首席クラリネット奏者の持丸秀一郎は「ポンマーさんはドイツの伝統の流れの中にある音楽家。だからわれわれのベートーヴェンはこうだった、ブラームスはこうやって来たんだというのが自然に身についていて、それを僕らにこういう音がほしい、という表現で示してくれる。今回もリハーサルから本番への流れがとても楽しみです」と語る。今年80歳を迎えた巨匠ポンマー。持丸の言葉には静かな洞察と敬意が滲む。

[首席クラリネット奏者]
持丸秀一郎

首席客演指揮者アラン・ブリバエフについて語るのは、首席トランペット奏者の小曲俊之。

「リハから本番までの短い間で、よくあそこまで音楽を持っていけるな、と思います。彼は、僕らが今までやってきた方法やスタイルをいったん全部壊してしまうので、戸惑う時間があるんですよ。それが本番になるとこんなに面白いことになってたのか、と思わされてしまう」

と語る。表情豊かな小曲の言葉に、他のふたりは何度もうなづく。松浦も、

「ブリバエフはイメージをすごくたくさんしゃべるんです。そのことによってみんなをイメージに引き寄せていく、みたいな。彼の中では曲に対してはっきりした物語があるらしくて、そんな風に考えているなら、私たちもその物語に参加してみようか、ついそんな気になるんですよ」。

ブリバエフの手にかかると、これまで何度も演奏してきたチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番からも、何か新しい響きが聴こえてくるのではないか、そんな予感がするという。そして「アレクサンドル・ネフスキー」はセンチュリーが初めて取り組むプロコフィエフの大曲。「ブリバエフらしい選曲」と3人は口を揃える。

トルコのピアニスト、ファジル・サイの定期初登場は、楽団員にとっても新鮮な喜びだという。「ファジル・サイ、すごく好きなんですよ」と松浦。「家にCDがあったから持って来た」と小曲。演奏家同士の純粋な憧れを垣間見るような、心地よいひととき。

「ザ・シンフォニーホールの素晴らしいところは、ステージでもちゃんと自分の音が聴こえるところ。この音が客席に届いているのだろうな、と思える安心感がある」

と3人は共通の印象を語る。定期演奏会は金曜日と土曜日の2日。同じ作品でもまったく違った演奏になることがあるという。取材の最後に持丸が語った言葉が印象的だった。

「初めての曲でも、100回目のベートーヴェンでも、同じ新鮮な気持ちで演奏できなければ、オーケストラの演奏は成り立たない。何十回、何百回と演奏した曲の中に新しい何かを見つけられるだろうか。演奏は前回を超えられるだろうか。僕らはそれを問い続けるのだと思う」。

（重荒知也）

[首席トランペット奏者]
小曲俊之

秋の定期演奏会　会場情報、チケットご予約は14ページをチェック！

82歳――"生涯現役"

菅原洋一 コンサート2017 ～私のこころに残る歌～

先行予約 9/22(金)
一般発売 10/1(日)

昭和45(1970)年、見事、レコード大賞に輝いた「今日でお別れ」をはじめ、昭和43(1968)年レコード大賞歌唱賞を受賞した「誰もいない」など数々のヒット曲を有する菅原洋一も、早いもので82歳の節(よわい)を重ねてきた。

しかし、その甘い歌声は、衰えることを知らず、昨年12月、当ホールで開催されたコンサートに於いても多くの聴衆を魅了した。さらに、菅原が79歳から精力的にリリースを続けるアルバムも4枚目を数える。今回のアルバムは、オリジナル曲からシャンソン、唱歌の名曲を収録した「私のこころに残る歌」(5月発売)。このアルバムには、「人の気も知らないで」「愛の讃歌」「霧の千草」「初恋」「愛のフィナーレ」など全16曲が収められている。

菅原は言う。「この歌を今の年ならば、こういう風に歌いたい」とか、「今の年齢だからこそ、この歌は歌える」といった作品がまだあるっていうことは、まだまだ途半ばということなのでしょうかね？」

82歳の生涯現役歌手、菅原洋一の円熟のステージに期待が高まります。

花城アリア

[歌]菅原洋一
[演奏]桑山哲也トリオ　[ゲストシンガー]花城アリア

愛の讃歌、思い出のグリーングラス、知りたくないのメドレー
ラ・クンパルシータ、マイウェイ　ほか

9/22(金)先行　10/1(土)一般

2017.1/21(土)2:00PM　全席指定 6,000円

[ご予約]サンシンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
[お問い合わせ]エス・ピー・エース 06-6204-0412
[主催]エス・ピー・エース/サンシンフォニーホール

想い出が蘇る！不朽の名作映画音楽をチェロの音色で

荒庸子 チェロ・リサイタル2017 想い出がいっぱい 珠玉のシネマ名曲SELECTION Vol.3

先行予約 9/22(金)
一般発売 10/1(日)

チェロが描き出す映画音楽の世界が話題を呼び、大好評のうちに第三回目を迎える"荒庸子チェロ・リサイタル 想い出がいっぱい 珠玉のシネマ名曲SELECTION"。

チェロの魅力は何といってもその"音"。弦楽器の中でも最も人の声に近いといわれるチェロの音色は、優しく心に語りかけます。この魅力的な音色で人気チェリスト・荒庸子さんが歌い上げるのは"ムーン・リバー""エデンの東""海の上のピアニスト"など、多くの感動を与えてくれた名作映画を彩る、美しく深いテーマ音楽の数々。その物語の世界観や名シーンはもちろん、その作品を観た時のことや一緒に観た人との思い出がふっと蘇る音楽はまるで魔法のよう。"ニュー・シネマ・パラダイス"で少年と映写技師が映画を通して心を通わせたように、映画とその音楽には人の気持ちを動かす特別な力があるのかもしれません。

そして今回は"優しい時間"のテーマや"ユー・レイズ・ミー・アップ"などテレビドラマの楽曲も取り上げます。このリサイタルならではのクラシックを織り込んだアレンジや、チェロで奏でられるクラシックの小品もぜひお楽しみください。

[チェロ]荒庸子　[ピアノ]山田武彦
マンシーニ：ムーン・リバー
チャップリン：ライムライト、スマイル
ローセンマン：エデンの東
モリコーネ：ニュー・シネマ・パラダイス～愛のテーマ
モリコーネ：海の上のピアニスト
ルキャニオン：優しい時間
ラウランド：ユー・レイズ・ミー・アップ
サン＝サーンス：白鳥
バッハ：G線上のアリア　ほか

9/22(金)先行　10/1(土)一般

2017.3/4(土)7:00PM
S 3,000円 A 2,000円
プレミアムシート 4,000円(S席+バックステージツアー1枠・開場・休憩時にロビーカフェにてご利用可能)

[ご予約・お問い合わせ]
サンシンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
[主催]カノンミュージック/サンシンフォニーホール

今年のクリスマスはまるごとくるみ割り人形！楽しいバレエ音楽をお届け！

大阪交響楽団 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ Vol.7

先行予約 9/22(金)
一般発売 9/23(土)

小さなお子様から、おじいちゃん、おばあちゃんまで。毎回大好評の「0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ」のクリスマス公演が今年も開催です！テーマは"まるごと くるみ割り人形 クラシックのクリスマス"。クリスマス・ムードが高まる12月、ロシアの巨匠チャイコフスキーが生み出した宝石箱のようなバレエ音楽"くるみ割り人形"から名曲をお届けします。華やかなオーケストレーション、ため息が出るような美しい旋律、ちょっぴりおどけた異国情緒漂うメロディー…。クリスマスの夜に巻き起こる少女クララと、くるみ割り人形の王子様の、摩訶不思議な冒険を心躍る音楽でたっぷりとお楽しみいただきます。

毎回恒例、音楽に彩りを添えるのは、会場に設置されたプロジェクション・マッピングの光と映像。なんと今回はシリーズ初、バレリーナ荒瀬結記子さん(吉岡バレエ団)を迎えて華やかなバレエも一緒にお楽しみいただきます！大迫力のサウンドを奏でる大阪交響楽団を率いるのは、同楽団常任指揮者の寺岡清高さん。お馴染みの歌のおにいさん、おねえさんのリードで小さなお子様たちもどんどん音楽に引き込まれていきます。

この冬はご家族みんなで、きらめくロシアバレエ音楽の世界へ出かけましょう！

[指揮]寺岡清高
[歌のお兄さん]新井宗平　[歌のお姉さん]山本かずみ
[バレエ]荒瀬結記子　[管弦楽]大阪交響楽団

チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」より
行進曲♥/花の精♥/雪の精(クリスマスツリーの精子)♥
ロシア舞曲(トレパーク)/葦笛の踊り♥/くるみ割り人形と雪の精♥
故郷の思い出(ヴァイオリン・ソロ)♥/あし笛の踊り(金平糖の精)♥
◆プロジェクション・マッピングつき　◆バレエつき

2016.12/20(火)　9/22(木)先行　9/23(金)一般
予約の部 11:00AM　本番の部 2:00PM
S おとな 2,500円　S こども 1,500円　A おとな 2,000円
A こども 1,000円　B おとな 1,500円　B 小学生 800円
※こども、小学校低学年以下、3歳以上未就学児不可。
※車椅子のお客様はお席の上でもご観覧可能ですのでお申し込みください。

ご予約・お問い合わせ サンシンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
[主催]一般社団法人 大阪交響楽団/サンシンフォニーホール

サンクトペテルブルグ室内合奏団

クリスマス/アヴェ・マリア

Ave Maria in Christmas

豊かな弦のハーモニーと幻想的なハープの響き、
透き通ったソプラノの歌声が聖夜を彩る。
バロックの傑作をはじめとした名曲の数々を、
心をこめてお届けします。

J.S.バッハ(グノー編曲)、シューベルト、カッチーニ
三大アヴェ・マリア
J.S.バッハ **G線上のアリア**
ヴィヴァルディ **「四季」より"冬"**

モーツァルト **ディヴェルティメントK.136**
パッヘルベル **カノン**
サン=サーンス **白鳥**(「動物の謝肉祭」より)
ラフマニノフ **ヴォカリーズ** 他

マリーナ・トレクホヴィッチ
(ソプラノ)

イナリア・マガロワ
(ソプラノ)

12.11(日)14:00 ザ・シンフォニーホール 全席指定4,500円 9.16(金)前売開始!!

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※曲目、出演者の変更になる場合がございます。予めご了承ください。※譜面は前列で立ち見される方もおられますのでご了承ください。

NEW YEAR 2017

ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

宮殿祝賀コンサート

美しく青きドナウ
皇帝円舞曲
トリッチ・トラッチ・ポルカ
喜歌劇「こうもり」より序曲
雷鳴と稲妻
アンネン・ポルカ 他

新年は幸せを呼ぶウィンナー・ワルツ!
胸躍るシュトラウスの音楽で甦る
きらびやかなウィーン舞踏会の世界。

9.16(金)前売開始!!

1.8(日)14:00 ザ・シンフォニーホール S.6,000円 A.4,500円 B.3,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※曲目、出演者は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

お問い合わせお申し込み
エースプロモート 06-6341-1171 http://www.ace-promote.com
チケット取り扱い **ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333** (10:00~18:00 火曜定休)

■主催/光藍社
エースプロモート

※2017年4月までの開催予定公演!!

大阪市民管弦楽団
第84回定期演奏会
2016.9/11(日)

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第61回定期演奏会
2016.9/18(日)

関西大学応援団吹奏楽部
関西大学創立130周年記念
第55回定期演奏会
2016.12/9(金)

関西学院
関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール
2016.12/22(木)

龍谷大学吹奏楽部
第43回定期演奏会 大阪公演
2016.12/26(月)

京都大学交響楽団
第200回定期演奏会
創立100周年記念特別公演
2017.1/17(火)

関西大学OB交響楽団
関西大学創立130周年記念
70周年記念関西大学OB交響楽団演奏会
2017.1/22(日)

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第62回定期演奏会
2017.1/29(日)

早稲田摂陵高等学校ウィンドバンド
第58回定期演奏会
2017.2/18(土)

ミューズシンフォニーウィンドオーケストラ
第30回記念定期演奏会
2017.2/25(土)

大阪市民管弦楽団
第85回定期演奏会
2017.3/5(日)

近畿大学附属高等学校吹奏楽部
第44回 定期演奏会
2017.3/27(月)

三木ウィンドフィルハーモニー
パナソニック エコソリューションズ吹奏楽団
JOYFUL BRASS 2017
2017.4/30(日)

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する「ザ・シンフォニーホール」。

1989年以来、毎年ザ・シンフォニーホールで音楽的才能に溢れたクリスマスコンサートを開催し幅広いファンから支持を得ている関西学院。創団70周年という記念すべき年に、その歴史の礎を築いてきたOB・OGによる情熱的な演奏に期待が高まる関西大学OB交響楽団。注目の2楽団からメッセージが届きました!

MESSAGE 関西学院

一般発売 10/17(月)

関西学院クリスマス
at ザ・シンフォニーホール
[合唱]グリークラブ、聖歌隊 ほか
[演奏]吹奏楽部、ハンドベルクワイア
[指揮]小貫岩夫

クリスマスの讃美歌、キャロル
アヴェ・マリア
ヘンデル「メサイア」よりクローリア
ハレルヤ、クリスマスのオルガン曲
独唱曲 など

2016.12/22(木)6:30PM
当日座席券と交換 2,000円

[ご予約] シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問い合わせ] 関西学院事務センター 0798-54-6018

関西学院クリスマスは1976年から関西学院の中央講堂において開催しております伝統あるクリスマスページェントです。それを1989年に学院創立100周年を記念し、このクラシックの殿堂ザ・シンフォニーホールで開催する企画が生まれました。お陰様で大好評を博し、次年度からの開催も恒例化し、毎年ファンの皆様が心待ちにされる催しとなっております。

関西学院が誇る音楽団体であるグリークラブ、吹奏楽部をはじめ、聖歌隊、混声合唱団エゴラド、ハンドベルクワイア、高等部・中学部グリークラブなど総勢300人を超す出演者が、イエス降誕の物語を聖書朗読と音楽で繋り広げ、クリスマスメッセージに耳を傾けます。

第二部は前半の厳かな雰囲気から一転、プロのアーティストも招聘するクリスマスコンサートとなり、客席と一体となって歌うコーナーなども加え、クリスマスを祝うムードが一気に高まります。

関西学院の音楽的才能を結集したともいえるクリスマス礼拝&コンサートに、学院の同窓やご家族はもちろん、広く一般の方々のご来場を心よりお待ちいたしております。

MESSAGE 関西大学OB交響楽団

関西大学OB交響楽団は、今回の演奏会のために結成されたオーケストラで、卒業してから50年近い方から今年卒業したところの方まで、幅広い年代が集まりました。2016年は、関西大学交響楽団創団70周年、関西大学創立130周年であり、同年度にザ・シンフォニーホールで演奏会を開催できることになり、たいへん盛り上がっていて、関大オケOB・OG会、演奏会には参加しないOBの皆様からも多大なご支援をいただいております。感謝をこめて演奏したいと思っております。

曲目は、関大オケで歴代最も多く演奏会で取り上げられている、チャイコフスキー交響曲第5番と、卒業してからも必ず一度は演奏したことのある曲のひとつ、ベートーベン交響曲第5番「運命」、大変親しみやすいプログラムになりました。指揮は、関西大学文学部卒でありながら、現在ホルン奏者、指導者として活躍中の深谷武生氏です。ザ・シンフォニーホールでの指揮は初めて、しかも関大OBを長えてとのことで、とてもはりきっています。彼の今後の活躍にもご期待ください。

関大関係者だけでなく、皆様に楽しんでいただける演奏会をめざしています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

関西大学OB交響楽団 演奏会

[指揮]深谷武生
[管弦楽]関西大学OB交響楽団

ベートーヴェン:交響曲 第5番 op.67 ハ短調
チャイコフスキー:交響曲 第5番 op.64 ホ短調

2017.1/22(日)2:00PM
入場料 2,000円

[ご予約・お問い合わせ]
関西大学OB交響楽団 090-6478-3491

CM、ドラマ、スポーツ…誰もが耳にする、あのメロディーはクラシック。

インターネット会員 先行販売 9/22(木)〜 一般発売 9/10(土)

The Symphony Hall × ちちんぷいぷい 昔の音は偉かった　其の弐

昨年好評をいただいた、ザ・シンフォニーホールと毎日放送の番組「ちちんぷいぷい」がコラボする楽しいコンサートが今年も開催！

「ちちんぷいぷい」の人気コーナー"昔の人は偉かった"で関西を席巻するくっすんと河田直也アナウンサーが、クラシック音楽の世界に足を踏み入れます。テレビのコマーシャルやドラマ、映画、あるいは運動会やオリンピックで聞いたあの曲もこの曲も実はクラシック！

ぷいぷいファミリーの評論家玉木正之さんのやさしい解説を挟みながらコンサートは進行します。くっすんと河田アナと一緒に、どこかで聞いたあのメロディーの作曲家の秘密やこぼれ話に耳を傾け、フルオーケストラの演奏を楽しんでください。

管弦楽は関西フィルハーモニー管弦楽団、指揮は松沼俊彦。進行役はMBSアナウンサーの古川圭子。ゲストには昨年も登場した5人組のヴォーカルグループLE VELVETS（ル・ヴェルヴェッツ）が、華やかな歌声でコンサートを盛り上げます。

[管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団
[指揮] 松沼俊彦
[出演] ちちんぷいぷいキャスト
（玉木正之、くっすん、河田直也）
[ゲスト] LE VELVETS　[司会] 古川圭子

オッフェンバック　喜歌劇「天国と地獄」序曲
ロッシーニ　歌劇「ウィリアム・テル」より スイス軍の行進
ショパン　ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11　ほか

2016. 10/4(火) 6:30PM
A 5,000円　B 4,000円
※4歳以上有料、3歳以下入場不可。
全席自由一席

[ご予約] ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
[お問い合わせ]
キョードーインフォメーション 0570-200-888（10:00-18:00）
[主催] MBS/ザ・シンフォニーホール

楽団史上初の大阪公演がザ・シンフォニーホールで実現！

発売中

名古屋フィルハーモニー交響楽団 大阪特別公演

名古屋を中心に東海地方を代表するオーケストラとして、毎シーズン意欲的なプログラムを展開して高い評価を得ている名古屋フィルハーモニー交響楽団。創立50周年の節目に小泉和裕を音楽監督に迎え、その華麗な響きにさらに磨きをかけている。

楽団史上初の大阪公演となる今回のコンサートには、ソリストとして巨匠ゲルハルト・オピッツが登場。ベートーヴェン、ブラームスなどドイツ作品の演奏には定評がある彼が選んだ曲目は、ピアノ・コンチェルトの代名詞とも言うべきベートーヴェンの最高傑作"ピアノ協奏曲第5番"皇帝"。ピアノとオーケストラが織り成す壮麗な響きが魅力的な第1楽章、心に沁みわたるような抒情的な旋律と和声が素敵な第2楽章、躍動感あふれる第3楽章……。小泉和裕の気迫のこもった指揮の下、名古屋フィルハーモニー交響楽団の清々しいサウンドが円熟の巨匠のピアニズムと溶け合って、聴衆に満ちた演奏が繰り広げられるに違いない。

後半のバルトークの晩年の代表作"管弦楽のための協奏曲"は、オーケストラの各楽器の多彩な音色と響きが試される作品。小泉和裕の緻密でシャープな指揮の下、名古屋フィルハーモニー交響楽団の50年間の成果が発揮されることだろう。

（音楽ライター 前田功雄）

[指揮] 小泉和裕
（名古屋フィルハーモニー交響楽団 音楽監督）
[ピアノ] ゲルハルト・オピッツ
[管弦楽] 名古屋フィルハーモニー交響楽団

ベートーヴェン　ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 Op.73"皇帝"
バルトーク　管弦楽のための協奏曲

2016. 11/20(日) 3:00PM
S 6,000円　A 5,000円　B 4,000円　C 3,000円
Y 1,000円（24歳以下当日券のみ）
※年齢制限（24歳以下・65歳以上）・障害者手帳所持者の割引は、各プレイガイドのみの取扱い。

[ご予約・お問い合わせ]
名古屋チケットガイド 052-339-5666
ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
[主催] 公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団

Hall Topics

ホールトピックス

地下駐車場に昇降機（リフト）の増設が決定。駐車場からも車いすでご入場いただけるようになります！

すべてのお客様に快適に音楽を楽しむ時間をお過ごしいただけるよう、
ザ・シンフォニーホールではユニバーサルデザインの採用を進めています。

車いすのお客様にも気軽にお越しいただけるよう駐車場に昇降機を設置致します。
これまでの正面入り口側スロープとリフトをご利用いただくご入場ルートに加え、
駐車場から車いすに乗ったまま、直接館内にご入場いただけるようになります。
昇降機のレールは手すりとしてもご利用いただけますので、歩行者の方にもより安心・安全なホールに。

10月中の稼働開始を予定しております。

※写真はイメージです。実際のレイアウトは異なります。

※昇降機の操作は係員が行います。ご利用の際は最寄りの受付のインターフォンで係員にお申し付けください。

special interview

滋慶学園グループ総長
ザ・シンフォニーホール 総監

浮舟 邦彦 × 梅津 時比古

桐朋学園大学院大学
桐朋学園大学 学長

スペシャル対談インタビュー

日本初のクラシック専用ホールが大阪にできたことこそが関西経済人の心意気、その大切な文化を未来に継承する

浮舟 邦彦

2016年6月4日(土曜日)初夏を思わす日差しの中、一人の男性が開場前のザ・シンフォニーホール(TSH)に現れた。桐朋学園大学、大学院大学学長の梅津時比古(敬称略)である。桐朋学園は昔わずと知れた日本最高峰の音楽大学。日本から世界に発信された幾多のソリストを中心に小澤征爾を始め世界で活躍する音楽家を今も育て続けている。学長の梅津は新聞社での経験を生かし日本最高峰の音楽大学の未来を創る。

出迎えたのは2012年、存続の危機にあったザ・シンフォニーホールを「このホールは日本の文化資産であると同時に関西経済人の心意気」、「なんとか存続したい」と願ってもが躊躇したホール経営に手を挙げた滋慶学園グループ総長浮舟邦彦。

この日の演目は関西芸術文化振興の最前線を担う朝日放送主催、ニューヨークを始め世界で活躍する指揮者、ユーリ・テミルカーノフ率いる「サンクトペテルブルグフィルハーモニー交響楽団」。

和やかな出会いではあったが互いに学校経営者として公演前はまだ学校環境等の話題に留まり、館内バックヤードの見学等が行われた。そして開演のベルがなり、コンサートが始まった。ロシアを代表するオーケストラの演奏はその国の代表的な作曲家、チャイコフスキーのピアノ協奏曲をしたり、ショスタコーヴィチの交響曲第5番」というお客様の拍手の下、終演。その後、2人の対談が始まった。

その対談の一部を披露する。

浮舟 如何でしたか、久しぶりのザ・シンフォニーホールは？

梅津 ほんとに久しぶりにこのホールで聴きました。やはり日本最高のホールですね、というより日本が世界に誇るべきホールです。私が言うのも変ですが、音楽人として、浮舟さん、このホールを残してくれて本当にありがとうございます。

浮舟 私も一音楽ファンとして昔はよくこのホールでコンサートを聴きました。ジルベスター(年末のカウントダウンコンサート)があって隣にホテルがあったころはここに泊まって、ジルベスターを聴いて、そして家内と初詣に行くのが楽しみでした。

梅津 素晴らしい年末の過ごし方ですね。最近はジルベスターが無くなったようですが？

浮舟 とても寂しいと思いましてね、折角だから昨年末に復活してもらったんですよ。オペレッタ音楽のコンサートでとても楽しくて、ジルベスターとその後1月一日の午後にあったニューイヤーコンサートの両方を聴きましたね。

梅津 浮舟さんは経営者としてこのホールを運営する上で大切にされている事は？

浮舟 それはこれまでの大切な文化を何も変えないことです。そして未来に大切なものを継承していくことです。だから名前も変えず、よくあるネーミングライツのようにグループの名前をホールに付けたりすることもせず、ザ・シンフォニーホールのまま運営を続けました。

梅津 音響もクラシック専用ホールとしてもですか？

浮舟 その通りです。これまでのクラシック音楽の殿堂としての誇りをそのままに、又、この残響2秒という素晴らしい音響空間を生かせる新たな取り組みもしています。音楽ファンを増やすことも大切な事です。その為にはもっと多くの人にこのホールを知ってもらう事が大切ですから、ホールとして積極的に出演者を増やす努力や、高度なアマチュア楽団や吹奏楽団にも積極的にこの舞台に立ってもらっています。そして、情操教育の一環として0歳から入場できるコンサートや最新鋭のプロジェクションマッピングを導入した音楽と映像のコラボレーションなんかも積極的に進めています。

梅津 それは素晴らしい決断をされましたね。時代の流れの中でこうした大切な宝物が消えていくのはとても残念なことですから。

浮舟 その通りですね。目的はこの大切なホールを未来に継承することです。それが安心して行える環境を作らないといけないと考えています。

梅津 大切なことです。私は仕事柄、世界中のホールの音を聴いて回りました。浮舟さんこのホールは"奇跡の傑作"と言って良いホールなんですよ。

浮舟 「奇跡」

梅津 そうです。技術力が最高のホールを作れるのであれば、このホールが出来た1982年以降、更に技術力は躍進している訳ですから、もっと素晴らしいホールが出来て当たり前じゃないですか。今の時代であればどんな音響も技術的にはそんなに難しいことではないはずですよ。でもこれだけの響きのホールは他に無いといっても過言ではありません。勿論、技術も大切ですが、それだけでは出来ない運命的な積み重ねがこの音響を作り上げたのだと思います。世界には素晴らしい音響のホールが沢山あります。ウィーンのムジークフェラインもその一つですが、それだけではありません。ホールには特徴があります。私が一番好きなホールはオランダのデン・ハーグにある新教会なんですが、元々は教会だった所で本当に素晴らしい響きがするんです。今日の演奏をこのホールで聴いて感じたことは、オーケストラの素晴らしさは大きなアンサンブルのマスの素晴らしさと室内楽のような繊細な響きの両面にあると思うのですが、通常のホールだと、大きな音を吸収するが、小さな音が響かないとかその逆もあるのですが、このホールはショスタコーヴィチの5番のあの大音量、またヴァイオリンのソロやハープの音色までがホールの隅々まで届く、まさに音楽の両面を完璧に現える素晴らしいホールです。

浮舟 そう言ってもらえると私も決断したかいがありました。私はこのホール自体を文化と捉えているんです。

梅津 その通りだと思います。ホールが文化を形成した例は沢山あります。例えば、バイロイトの祝祭劇場が無ければあのワーグナーの素晴らしい演奏芸術は皆ってこなかったと思います。私も毎年そこを訪れるのですが、音楽家だけでなく、ホールに来る聴衆も共に育たなければ芸術、文化は熟成されない。だから音楽家と聴衆の架け橋になり、芸術文化の醸成の場がホールなんです。さらにヨーロッパではホールに専属の演奏集団がついていて、そのホールだからこその演奏をそのホール聴衆が楽しむ、だから醸成された音楽と聴衆が出来上がるという構図ができています。正にホールがその起点になるわけですね。

浮舟 その通りですね。日本の文化でも例えば歌舞伎は歌舞伎座で、文楽は文楽座があるから育ち、継承、継続されてきたわけで、そしてそこには常にそれを愛する聴衆、ファン、支援者が集まっていましたね。それらが作り上げるのは芸術だけではなく、雰囲気も大切だと思うんですよ。

梅津 雰囲気という要素は非常に重要だと思います。このホールの素晴らしさは立地にもあると思います。先ほども見ましたが、音楽だけでなく、ホール内にはヨーロッパのように休憩時間に音楽好きが集うカフェがあり、その窓からは前の公園の緑が見え、正にどっぷりと芸術に入り込める雰囲気が醸えられていると思いました。

浮舟 そうなんです。あのカフェも作り変えまして、ゆっくり座っておれほど素晴らしい場所が残されていることに感動しました。

浮舟 ありがとうございます。梅津さんのお話を聴けて、益々緊張する気が湧いてきました。まだ、お帰りまでお時間もおありなので、続きは一杯やりながらもう少し如何ですか？

梅津 良いですね!!

と二人の会話はこの後、場所を移して更に音楽、経営、これからの展望と発展するが、今回はこのあたりまで。

二人の第2ラウンドの会話の中から、新しいコラボレーションの機運が高まりつつあるのを感じたので、そのあたりをまた後日皆さんにお届けしようと思います。

日本音楽界の最高学府の学長からの高い評価を受けたザ・シンフォニーホールのこれからに、ご期待を!!

聞き手 ザ・シンフォニーホール
取締役ビジネスマネージャー
音楽総監督
喜多 弘悦

技術力だけでは解明できない響き、奇跡、傑作のホール《ザ・シンフォニーホール》

梅津 時比古

ABCアナウンサー
堀江政生の

シンフォニア・アワー

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとっておきエピソードをご紹介。

vol.17　ボリショイの紳士と少年

2005年から6年間かけて改修されたモスクワのボリショイ劇場は、赤い床に椅子、5階建てバルコニー状の内装は金箔が張り巡らされた絢爛豪華なホールでした。私が行った日の演目は、バレエの「ドン・キホーテ」。人気のプリマが出ていたこともあり、満員御礼でテレビカメラが5台も入っていました。私の席は3階の左サイドのバルコニー。細かく区切られたドアを入ると、3列8席の小部屋の一番後ろがそれでした。正直、良い席ではありません。7,000ルーブルですから、12,000円ほどでしょうか？高いのか安いのかわかりませんが、でも、舞台の下手側3分の1は見えない。さらに、斜め前の人が興奮して立ち上がると、舞台の半分以上が見えなくなってしまうんですよ。（そしてまたロシアの人はしょっちゅう興奮する!!）ドン・キホーテが風車に戦いを挑む、この風車が下手の奥にあるもんで、さっぱり何をやっているかわからない。ところが、同じように見えない人も多くいるにもかかわらず、「そこ、立つんじゃねえぞ！」なんてことにはならないので、みなさん寛容なんですね。実際、私のチケットには「この席は見にくいです」とキリル文字で印字してあるそうで、ハナから織り込み済みってこと。しょうがない、身を乗り出したりよじらせたりしながら、見えないことをも楽しんでおりました。

そんな中、同じ小部屋の一番前の席に座っている紳士が、隣の小部屋の後ろの方で見ていた、10歳位の男の子を見つけると、「ぼうや、こっちに来るかい？」と声をかけ、席を替わってやったのです。少年は、ほぼ3時間、真剣に舞台を見つめ、素晴らしい演技があると笑顔で拍手をし、退屈せずにバレエを満喫していました。席を譲った紳士も満足気に口元を緩ませます。

芸術に触れる機会が少ない子どもにこそ、しっかりと触れさせてやるべき、そんな国民性がにじみ出ている瞬間に遭遇しました。

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介！

堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシックの知識を余すところなく語る30分。

1008 ABC

毎週日曜日
朝7時5分～7時35分

9

16	19:00					0823-22-5511
17	17:00				S 5,000 A 4,000 B 3,000	06-4964-5757
18	14:00				2,000	06-6136-1737
19	14:00				A 4,000 B 3,000 4,000 1,000	06-6577-1381
22	14:00				A 7,000 B 5,000 C	06-6453-6000
23	19:00				S 7,500 A 6,000 B 4,500 C 3,500 D 1,500	06-6868-0581
24	14:00				S 7,500 A 6,000 B 4,500 C 3,500 D 1,500	06-6868-0581
25	14:00				S 6,000 A 4,500 B 3,000 C 2,000 1,000	06-6577-1381

チケットご購入方法

お電話で購入

ザ・シンフォニー チケットセンター 10:00～18:00（休館日を除く）

☎06-6453-2333

窓口で購入

ザ・シンフォニー チケットセンター 10:00～18:00（休館日を除く）

シンフォニア会員先行予約期間の窓口でのお取り扱いはございません。

インターネットで購入

ザ・シンフォニーホール ホームページ
http://www.symphonyhall.jp/

- 公演スケジュールページの「TICKETマーク」が付いている公演を選択。
- 「チケット購入」ボタンをクリックし、チケット購入サイトへ。
- 先行予約・一般発売は発売日の午前10時からご利用いただけます。

※お取り扱い公演に関しましては、19～21ページの公演カレンダーをご確認ください。
※支払い方法、手数料等については、ザ・シンフォニー チケットセンターへお問合せいただくか、またはザ・シンフォニーホール ホームページをご覧ください。

クラシックを聴きながら作曲者や楽曲に
隠された物語や、豆知識などをお届け!

The Symphony Time
ザ・シンフォニー タイム

YES-fm 毎週土曜日 あさ10時～11時

ザ・シンフォニーホール音楽監督・ゼネラルマネージャー
藤岡幻悦が、クラシック音楽をより多くの方に聴いて頂ける
よう、わかりやすく楽しい軽快なトークとともに、クラシック
の名曲をご紹介!
http://www.yesfm.jp

YES-fm 78.1MHz

10

1	13:00 17:05				S 14,800 S 19,800 A 9,800 A 14,800 B 5,800 B 19,800	0570-200-888
2	14:00				S 5,000 A 4,000 B 3,000 7,000 S&B 1,000	0800-919-5508
3	18:30				S 7,000 A 6,000 B	06-6633-9254
4	18:30				A 5,000 B 4,000	0570-200-888
8	13:30 17:05				S 3,500 A 3,000 B 1,500	072-226-5522
10	14:00 18:30				S 14,800 S 19,800 A 9,800 A 14,800 B 6,800 B 19,800	0570-200-888
14	19:00				S 6,000 A 4,500 B 3,000 C 2,000 1,000	06-6577-1381
15	14:00				4,000	06-6453-6000
15	19:00					070-8661-7705
16	14:00				A 7,000 B 5,000 C	06-6453-6000
16	18:00				25,000 1,000	06-6453-1010
20	18:00				6,500	06-6204-0412
21	19:30				2,500	06-6656-4880
22	14:00				A 5,000 B 4,500 C	06-6453-6000
22	19:00				3,000	06-6453-2333
23	14:00				4,000	06-6453-6000
25	10:30					06-6941-6681
27	19:00				S 6,000 A 5,000 B 3,500 C 2,500 D 1,500 2,000 1,000 4,000	072-229-5522
28	19:00				S 7,500 A 6,000 B 4,500 C 3,000 D 1,500	06-6868-0591
29	14:00				S 7,500 A 6,000 B 4,500 C 3,000 D 1,500	06-6868-0591
30	15:00				S 6,300 A 5,000	0570-200-888
31	18:30				6/22-6/12	092-714-2727

JALホノルルマラソンツアー
&レースデー・ウォークツアー<6日間>

JALホノルルマラソン2016

- 開催日：2016年12月11日(日)午前0:00スタート
- 種目：フルマラソン(42.195km)
- START：アラモアナ公園　GOAL：カピオラニ公園
- 参加資格：大会当日の年齢が満18歳以上で健康な方
- 制限時間：あり(6h)
- オフィシャルパートナー(2016年以降の方)：
大会に参加される方は、日本語版オフィシャルサイトよりエントリー手続きをしてください。

■マラソンに自信のない方でも大丈夫！
「レースデー・ウォーク」はタイムを競うレースではありません。ゆっくりハワイの風を感じながらアラモアナ公園からカピオラニ公園までの10kmを歩きます♪

ランナーズステーションゴールをゴールに設定！

マラソン当日のゴール地点に専用テントを設置。冷たいミネラルドリンクやフルーツ、カレーライスや軽食の提供サービスが受けられます。

マラソン当日の観戦会場をご用意！

観戦に食べられるおにぎりとバナナで準備万端！

スタート地点とフィニッシュ中心部までをご用意

ウォーミングアップやクールダウンをかねて、徒歩での移動もOK！

5つのトロリーバスが適宜巡回運行

スケジュール

(ツアー出発日：12月6日(火)・12月8日(木)両方選択、往復ともJAL便のご利用となります。)

1日目	■関西国際空港→ホノルル 【21:00→21:30】関西国際空港よりホノルルへ。(機内泊)　【1日目】 【08:30→10:40】ホノルル着、ミッドパシフィックホテルまで送迎のアイランドラウンジへご案内、簡単な説明後、各自ホテルへ。 (荷物は預かり後にてホテルまで配送します。)　【2】ホノルル
2日目	【終日】自由行動 ～興味のあるツアーやオプショナルツアーなどをご利用ください～　【3】ホノルル
3日目	■12/11(日) JALホノルルマラソン&レースデー・ウォーク開催 【準備】荷物預かり、スタート場所、アラモアナ公園までは各自で移動してください。 【3:00】JALホノルルマラソンスタート！ 【5:15】レースデー・ウォークスタート！ レース後、ゴール地点カピオラニ公園内：ランナーズステーションで休憩 ＊カピオラニ公園内は荷物預かりまでとなります。 ＊12/10(土)は終日自由、ご自由にお過ごしください。　【4】ホノルル
4日目	【終日】自由行動　【5】ホノルル
5日目	■ホノルル→ 【午前】各自ホテルでチェックアウト後、ミッドパシフィックホテルまで送迎へ。 【12:30→13:40】ホノルルより関西国際空港へ。 【機内泊】【6】関西空港
6日目	■～関西国際空港 【13:15→19:15】関西国際空港着後、入国手続を経て解散。

■航空会社：日本航空、デルタ航空、ハワイアン航空　■食事条件：朝食1回のみ
■ホテル：マイレスタイニーハイシティビューorシティビュー　■乗り継ぎ人数：1名様
■空港税：別

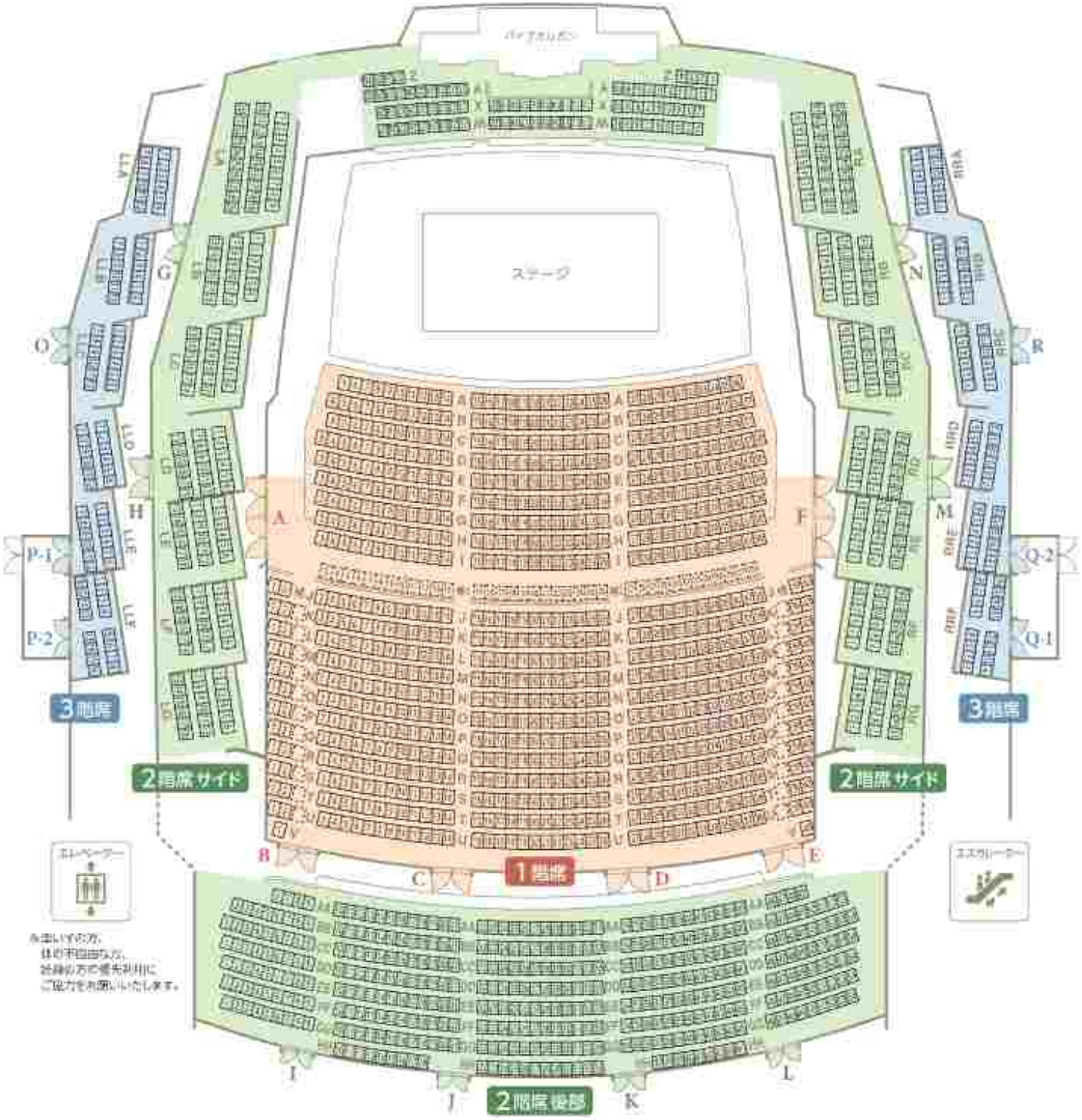
[資料請求先] 名鉄観光 梅田支店 06-6311-6621
●営業時間 9:00～18:00(土・日・祝・年末年始休業)
●大阪市北区堂山町3-3日本生命梅田ビル ●観光庁長官登録旅行業第1号
募集型企画旅行です。この広告で申込みを受け付けております。

11

2	19:00				A 20,000 B 17,000 C D	06-6453-6000
3	15:00				A 5,000 B 4,000 C 3,000	06-6868-0581
5	14:00				A 16,000 B 14,000 C D	06-6453-6000
5	19:00				S 3,000 A 2,000	06-6453-2333
6	14:00				A 16,000 B 14,000 C D	06-6453-6000
8	14:00 19:00				S 4,500 A 4,000	06-6966-8000
11	19:00					
12	18:00				5,000 5,500	000 8077 2975
13	14:00				A 4,000 B 3,000 C	06-6453-6000
16	14:00				A 4,000 B 3,000	06-6656-4890
17	19:00				S 6,000 A 4,500 B 3,000 C 2,000 1,000	06-6577-1381
18	18:30				1,000	06-6612-3954
19	19:00				5,000 3,500	03-3943-6677
20	15:00				S 6,000 A 5,000 B 4,000 C 2,000 Y 1,000	052-339-5666 06-6453-2333
22	19:00				S 18,000 A 15,000 B 13,000 C 10,000 50,000	06-6453-2333
23	14:00				A 4,000 B 3,000 C	06-6453-6000
24	19:00				S 5,000 A 4,000 B 3,000	03-5341-1155
25	19:00				S 7,500 A 6,500 B 4,500 C 3,500 D 1,500	06-6868-0581
26	14:00				S 7,500 A 6,000 B 4,500 C 3,500 D 1,500	06-6868-0581
26	19:00				A 5,000 B 4,000 C 3,000	06-6453-2333
27	14:00				S 3,000 A 2,000 B 1,000	0570-00-2811
30	19:00				1,260	06 6135 0503

ザ・シンフォニーホール座席表

The Symphony Hall



よりスムーズにご着席いただけますよう、座席と扉の位置をご確認ください。

エレベーターのボタン表示

5F	3階席	東：LLA～LLF 扉：O・P-1・P-2 北：RRA～RRF 扉：Q-1・Q-2・R	2階席サイド 西：AA～HH 扉：I・J・K・L	3
4F	2階席サイド	東：LA～LG 扉：G・H 西：RA～RG 扉：M・N	東：W～Z 扉：G・N	2
3F	1階席	東：A～V 扉：A・B・C・D・E・F		1
2F	グランドホワイエ			B2
1F	ホワイエ			B1
B1F	楽屋等			
B2F	駐車場			
B3F	駐車場			

計1,704席　[ ]印 補助席58席　立見席83席

■ザ・シンフォニーホール座席表「シンフォニー」第17号 2019年4月10日発行 ■表示座席数＝最多数席 ■席番メ＝メ色席子 ■発行＝株式会社ザ・シンフォニーホール 〒541-0051 大阪市中央区備後町2-2-1 phone 06-6453-3010 www.symphonyhall.jp